PART2 第一次世界大戦

Chapter1　第一次世界大戦の開始

目標　第一次世界大戦開戦の直接のきっかけを知ろう。
第一次世界大戦で初めて投入された新兵器とその影響を考えてみよう。

1　第一次世界大戦の勃発

①［　　　　　　　　　　　］**事件**（1914年６月）

ボスニアの州都サライェヴォで，［　　　　　　　　　　　］**帝位継承者夫妻**が［　　　　　　　］**人**の民族主義者に暗殺される。

※ドイツの支持を得たオーストリアがセルビアに宣戦すると，ロシアがセルビアの保護を表明。

②［　　　　　　　　　　　　　］**の開戦**（1914年７～８月）

ドイツ軍の中立国ベルギーへの侵入で開戦。ドイツ・オーストリアなどの**同盟国**側と，イギリス・ロシア・フランスなどの**協商国〔連合国〕**側に分かれて戦う。

A　同盟国側

ドイツ・オーストリアに加えオスマン帝国とブルガリアが参戦。

B　協商国〔連合国〕側

イギリス・ロシア・フランスに加え，オーストリアとの対立を理由に三国同盟から離れた［　　　　　　　］，日英同盟や日仏協約のある**日本**，のち日本に二十一カ条の要求を突き付けられた中華民国，1917年には［　　　　　　　］も参戦。

③主要参戦国における挙国一致体制の確立

反戦を掲げた国際的労働者組織である第２インターナショナルは事実上解体。

※ドイツ・イギリス・フランスなど国内の社会主義政党が自国政府を支持したため解体。社会主義者の中にも植民地統治を認めたり，自国の利害を優先したりする傾向は，開戦前から強まっていた。

2　第一次世界大戦の拡大

開戦前には予期しない長期戦・物量戦となり，海軍力に勝る協商国〔連合国〕は，海上封鎖によりドイツと海外との貿易を断ち，ドイツ側も**潜水艦**（Uボート）でイギリス・フランスの通商路を攻撃した。

①**タンネンベルクの戦い**（1914年８月）

ドイツがロシア軍を破り，ロシア領内に侵攻。

②東部戦線の状況

ロシア領の広さや冬の厳しい寒さのため決着の見通し立たず。

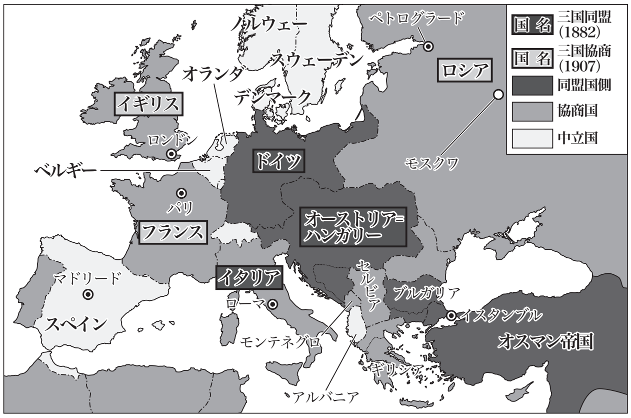
③**マルヌの戦い**（1914年９月）

ドイツが北フランスに侵攻するも阻止される。

④西部戦線の状況

塹壕に立てこもり，**戦車・航空機**・毒ガスなどの**新兵器**を投入しながら一進一退の攻防を続け，戦死者が増えていった。

戦車



第一次世界大戦中のヨーロッパ

まとめ
1914年，オーストリア帝位継承者夫妻がセルビア人の民族主義者に暗殺されたサライェヴォ事件が第一次世界大戦開戦のきっかけとなった。
戦車・航空機・毒ガスなどの新兵器が投入され，戦死者を増やした。

Chapter2　第一次世界大戦の展開と結果

目標
イギリスの「三枚舌外交」の，現在まで続く影響を理解しよう。
第一次世界大戦の結果，注目を集めた２大国がどこか考えよう。

1　第一次世界大戦の展開

①各種の**秘密条約**

同盟国・協商国〔連合国〕ともに，中立国や各地の民族運動を味方に引き入れるため，戦後の敵側領土・植民地の分配や民族の自治・独立を約束。

A　ロンドン秘密条約（1915年）

イタリアにオーストリアからの「未回収のイタリア」などの領土譲渡を約束し，協商国〔連合国〕側で参戦させる。

B　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕**協定**（1915年）

イギリスが〔　　　　　　〕**人**国家独立を認め，オスマン帝国に反乱させる。

C　**サイクス・ピコ協定**（1916年）

英・仏・露が戦後のオスマン帝国領の扱いを定める。

※フセイン・マクマホン協定と矛盾。

D　〔　　　　　　　　〕**宣言**（1917年）

イギリスが〔　　　　　　〕**人**国家独立に好意的対応を約束し，財政援助を期待。

※フセイン・マクマホン協定，サイクス・ピコ協定と矛盾。

E　インド自治の約束（1917年）

イギリスがインド義勇軍の戦争協力を得るため約束するが，果たされず。

②〔　　　　〕**戦体制**

A　独・墺・露は軍需工業中心の厳しい国民生活統制を実施

B　植民地の多い英・仏はゆるやか

C　ヨーロッパから離れた日・米にはほぼ影響なし

2 第一次世界大戦の終結と結果

①ドイツの攻勢失敗（1918年３月以降）

ソヴィエト＝ロシアと単独講和を結び西部戦線に集中するが失敗。

②［　　　　　　　］**革命**と休戦協定（1918年11 月）→キール軍港の蜂起が契機

皇帝がオランダに亡命，国内の諸君主は退位し，ドイツは共和国となる。

※それ以前にブルガリア・オスマン帝国は降伏，オーストリアは休戦協定を結んでいた。

③第一次世界大戦の結果

A　古い政治体制の動揺

国民多数の合意に基づく政治が主流となる

B　自由主義的な社会・経済政策の動揺

国家が強い力で社会政策を指導し経済に介入

C　ソヴィエト＝ロシア（社会主義）やアメリカ（自由主義）への期待

新たな戦後の国際秩序の理念を提唱

D　近代科学や技術への信頼や［　　　　　　　　　　　］**中心主義**が動揺

日本を除くアジアやアフリカ諸国の自立への自覚と期待が高まる

ドイツ革命

まとめ

イギリスの「三枚舌外交」はアラブ人・ユダヤ人の対立（パレスチナ問題など）につながっている。
第一次世界大戦後の欧米では，社会主義のソヴィエトと自由主義のアメリカに注目が集まった。

第7講 PART2 確認問題

1 1914年にサライェヴォ事件を起こしたのは，どこの国の民族主義者か。

① オーストリア ② ブルガリア
③ モンテネグロ ④ セルビア

2 第一次世界大戦に，同盟国側で参戦した国はどこか。

① ドイツ ② フランス
③ イギリス ④ 日本

3 第一次世界大戦に，協商国〔連合国〕側で参戦した国はどこか。

① オーストリア ② ドイツ
③ ブルガリア ④ ロシア

4 三国同盟から離れて，第一次世界大戦に協商国として参戦した国はどこか。

① アメリカ ② 日本
③ イタリア ④ オスマン帝国

5 1914年8月に起こった，ドイツがロシア軍を破った戦いはどれか。

① ライプツィヒの戦い ② タンネンベルクの戦い
③ マルヌの戦い ④ スターリングラードの戦い

6 1914年9 月に起こった，フランスがドイツ軍の侵攻を阻止した戦いはどれか。

① マルヌの戦い ② タンネンベルクの戦い
③ ソンムの戦い ④ ヴァルミーの戦い

7 第一次世界大戦で使用された**新兵器でないもの**はどれか。

① 水素爆弾 ② 航空機
③ 毒ガス ④ 戦車

8 第一次世界大戦中，秘密外交が展開されたが，イギリスがアラブ人国家の独立を認めたのはどれか。

① バルフォア宣言 ② サイクス・ピコ協定
③ ロンドン秘密条約 ④ フセイン・マクマホン協定

9 第一次世界大戦中，秘密外交が展開されたが，イギリス・ロシア・フランス間で結ばれたオスマン帝国領分割に関するものはどれか。

① サイクス・ピコ協定 ② バルフォア宣言
③ ロンドン秘密条約 ④ フセイン・マクマホン協定

10 第一次世界大戦中，総力戦体制がとられ，軍需工業中心の厳しい国民生活統制を実施した国はどこか。

① イギリス ② アメリカ
③ オーストリア ④ フランス

第7講　PART2　確認問題 解答

1 解答：④

サライェヴォ事件は，ボスニアの州都サライェヴォで，オーストリア帝位継承者夫妻がセルビア人の民族主義者に暗殺された事件。

2 解答：①

同盟国側には，ドイツ，オーストリアに加え，オスマン帝国とブルガリアが参戦した。

②：協商国〔連合国〕側で参戦した。
③：協商国〔連合国〕側で参戦した。
④：協商国〔連合国〕側で参戦した。

3 解答：④

協商国側には，イギリス，ロシア，フランスに加え，イタリア，日本，中国，アメリカが参戦した。

①：同盟国側で参戦した。
②：同盟国側で参戦した。
③：同盟国側で参戦した。

4 解答：③

イタリアは，オーストリアとの対立を理由に三国同盟から離れた。

①：開戦時には中立を保っていたが，1917 年に協商国側で参戦した。
②：日英同盟を理由として，協商国側で参戦した。
④：同盟国側で参戦した。

5 **解答：②**　タンネンベルクの戦いでドイツは大勝し，ロシア領内に侵攻した。

①：1813 年に起こった，ナポレオンに対する解放戦争の最大の戦い。
③：1914 年 9 月に起こった，フランスがドイツ軍の侵攻を阻止した戦い。
④：第二次世界大戦中の 1942 年に始まった，ドイツ軍とソ連軍との戦い。

6 **解答：①**　北フランスでのマルヌの戦い以後，西部戦線は一進一退の攻防となった。

②：1914 年 8 月に起こった，ドイツがロシア軍を破った戦い。
③：1916 年に起こった，イギリス・フランス連合軍がドイツ軍に総攻撃をしかけた戦い。
④：1792 年に起こった，フランス革命軍がオーストリア・プロイセン連合軍を破った戦い。

7 **解答：①**　水素爆弾は，1952 年にアメリカが最初に南太平洋のマーシャル諸島で実験に成功した。

②：1903 年にライト兄弟が実用化し，第一次世界大戦で新兵器として使用された。
③：第一次世界大戦でドイツ軍が初めて新兵器として使用した。
④：第一次世界大戦でイギリス軍が初めて新兵器として使用した。

8 解答：④　第一次世界大戦後のアラブの独立を約束する代わりに，オスマン帝国への反乱をうながした。

①：1917 年，イギリスがユダヤ人国家独立に好意的対応を約束したもの。
②：1916 年にイギリス・ロシア・フランス間で結ばれた，オスマン帝国領分割に関する協定。
③：1915 年，オーストリアからの「未回収のイタリア」などの領土譲渡をイタリアに約束した協定。

9 解答：①　サイクス・ピコ協定は，バルフォア宣言やフセイン・マクマホン協定と矛盾する内容であった。

②：1917 年，イギリスがユダヤ人国家独立に好意的対応を約束したもの。
③：1915 年，オーストリアからの「未回収のイタリア」などの領土譲渡をイタリアに約束した協定。
④：1915 年，イギリスがアラブ人国家の独立を認めた協定。

10 解答：③　軍需工業中心の厳しい国民生活統制を実施した国としては，オーストリアのほかドイツ，ロシアがあげられる。

①：植民地が多かったため, 国民生活統制は比較的ゆるやかであった。
②：ヨーロッパから離れていたため，ほとんど影響はなかった。
④：植民地が多かったため, 国民生活統制は比較的ゆるやかであった。